

第1学年（前期）国語科 評価・評定計画

学習単元・内容	学習のポイント
○言葉に出会うために ・野原はうたう（詩） 1 学びをひらく ・にじの見える橋（物語） ・言語①話し言葉と書き言葉（言語） ・スピーチ（話す） ・大根は大きな根？（説明文） ・ちょっと立ち止まって（説明文） ・わかりやすく説明しよう（書く） ・スピーチ名人（話す） ・漢字1（言語） ・はじめての詩（詩） ・言葉を集めよう（書く） ・文法の扉1（言語） 2 読書と情報 ・おいしい読書、雪とパイナップル、江戸からのメッセージ（読書教材） 3 つながりを読む ・星の花が降る頃に（物語） ・大人になれなかった弟たちに（物語） ・言葉2（言語） ・書写	・二編の詩を読み味わい、工夫して音読する。 ・登場人物の心情や行動から気持ちの変化をとらえる。 ・両者の違いについて理解し、音声言語への関心をもつ。 ・取材したことをもとに構成を工夫してスピーチをする。 ・段落の役割に着目して文章を読み、内容をまとめる。 ・段落と段落の関係に注意して文章の構成をとらえる。 ・情報を取捨選択し、わかりやすい文章を作成する。 ・聞き手を意識して話す。 ・漢字の組み立てと部首を理解する。 ・表現の特徴に着目し、描かれている情景を想像する。 ・多くの言葉を集め、日常生活を題材とした推薦文を書く。 ・言葉の単位とその働きについて理解する。 ・目的に応じて必要な情報を読み取る。 ・人物の気持ちや行動、描写に注意して読む。 ・登場人物の行動や情景描写に着目し、作者の思いを捉える。 ・指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。 ・姿勢と筆記用具の持ち方を知る。楷書と仮名をバランスよく書く。

評価・評定について					
評価事項	意欲・関心	聞く・話す	書く	読む	言語
評定に関する 観点の割合	20%	20%	20%	20%	20%
評価事項	学習記録表、提出物（ノート、ワーク、二百字帳・宿題） 授業態度・忘れ物 学びのルール意識	発表・暗唱・音読 ・群読・聞くテスト ・話す態度・聞く態度	学習記録表・創作文・作文・感想文・ 授業取組・定期試験	定期試験 授業取組	定期試験・小テスト ：漢字テスト・書写 作品・書写態度
備考 ○国語の授業では、毎時間「漢字テスト」を行います。そのテスト勉強が宿題になっています。必ず家庭で取り組み毎回満点を目指してください。 ○学習記録表には「忘れ物」「発表」「反省」の記録を取ります。毎時間の取り組みが一目で分かります。 ○「国語辞典」が必要です。学校に常備できるよう準備してください。 ○ノートを評価します。毎時間の板書をていねいに書き取っているか、新出漢字の自主学習ができているか、が評価の観点です。 ○創作文では、標語や短作文・感想文・作文などさまざまな種類に取り組みますが、必ず提出しましょう。					

